

令和6年度都立葛西南高校における教科指導の重点

重点教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・自分の言葉で考え、書く活動や話す活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・基礎的な漢字や語彙の習得のための反復学習及び、小テストの実施等による定着を確認する。 ・小論文や発表などに対して、個別の指導ができるよう、少人数制授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向け、志望動機や自己PRなど、自分の言葉で考えを表現するための授業を実施する。
地歴・公民	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・思考力・判断力・表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の理解と重要語句の定着のために問題演習を行う。 ・レポート作成や調べ学習など、主体的に取り組む活動時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループによる探究的な活動に取り組む。 ・一人1台端末を利用した他者との交流や自分の考えの発表を行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な学力の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な演算を中心とした例題、練習問題に繰り返し取り組む。 ・つまづきを早期に発見し、解決できるように習熟度別授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な演習を繰り返すことで、苦手意識を取払い、数学的な思考力を養えるように数学的な探究活動に取り組む。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・理科的な考え方を身に付ける学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の定着のため問題演習や確認テストに繰り返し取り組む。 ・実習や実験を通して理科的な考え方を身に付ける学習活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ(協働学習)による探究的な活動に取り組む。 ・レポートのまとめ方について学習する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わえる授業の実践 ・体力や運動技能を高める指導法の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・定期的な科内研修を実施する。 ・毎時間の授業で「体カトレーニング」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な授業参観を実践する。 ・外部の研修会等へ積極的に参加する。 ・楽しみながら運動量を確保できるような授業を実践する。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の充実 ・鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・「振り返り」の指導や作品完成後の言語活動に関する共有会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭等で作品展示、発表の機会を設ける。 ・校舎内での作品展示を開催する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の定着に向け、反復学習を実施する。 ・学期に1回パフォーマンステストを実施する。 ・JET、ALTを積極的に活用する。 ・表現活動の充実に向けて、少人数制授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検等の資格取得に向けた指導を実施する。 ・一人1台端末を利用した言語活動を充実させる。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な活動の充実 ・体験的な活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・グループワークを取り入れ、生徒の主体性を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内に振り返りや反省の時間を設け、次回以降の授業に活用する。 ・課題提出等にICT機器を活用する。 ・合理的配慮を行っての授業を展開する。
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会と適切に関わる力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・主体的に情報と情報技術を活用するために座学と実習をバランスよく行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理検定等の資格取得に向けた補講を実施する。